富山湾の水質を監視する

研究分野

・漁場の環境を守る

ねらい

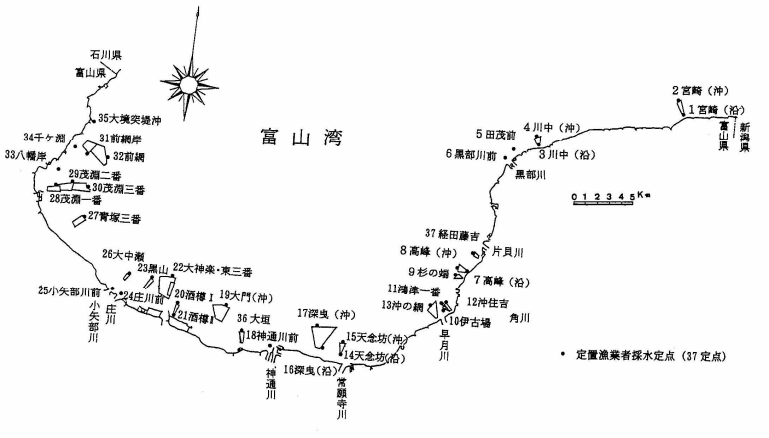
・ 富山湾の水質環境を監視するために、毎月１回水質分析を行っています。
・ 定置網漁業者が湾内 37 定点（図 1）において採水し、富山県漁業協同組合連合会がその海水を収集・運搬し、水産試験場が水質分析を担当して実施しています。

成　果

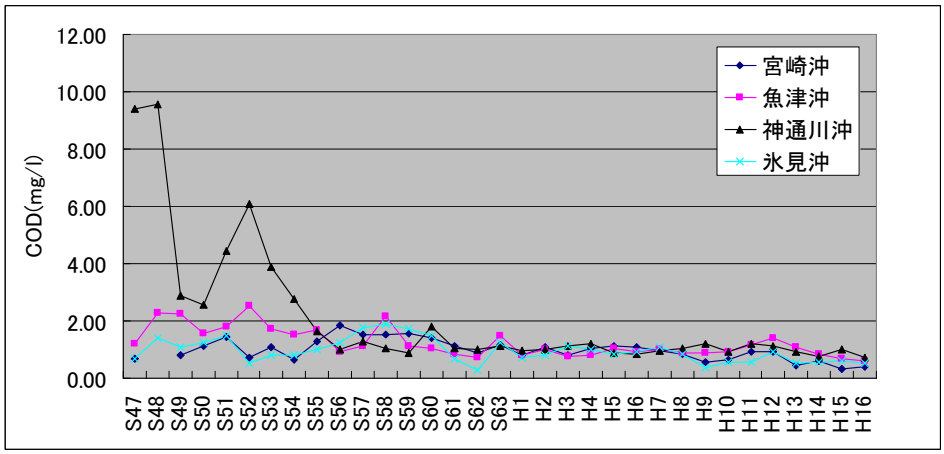
・ 昭和 47 年から現在まで水質分析のデータが蓄積されています。
・ 水質汚濁の指標となる COD（化学的酸素消費量）の経年変化をみると（図 2)、昭和 55 年以前の富山湾奥（神通川沖）では 2.8～9.6mg/ℓの範囲の濃度でした。
・ 近年では、富山湾の水質は改善されてきており、1mg/ℓ前後で推移しています。

活　用

・水質監視を行い、富山湾の水質を良好な状態に保つための各種施策に反映します。



【図１　富山湾沿岸定置網漁場における採水場所】



【図２　富山湾の水質（COD）の経年変化】

研究実施期間　昭和 47 年度～平成 16 年度
問い合わせ先　富山県水産試験場(076-475-0036)